

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 すきっぷ美瑛2nd		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 15日		～ 令和 8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 25日		～ 令和 8年 3月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	挑戦する気持ちを育てる支援	野球支援を軸に、子どもたちが挑戦する経験を積み重ねながら「できた」という成功体験を感じられるよう支援しています。苦手なことにも少しずつ挑戦できるよう、一人ひとりに合わせた声掛けや関わりを大切にしています。	子ども一人ひとりの気持ちや思いを丁寧に受け止めながら、挑戦する楽しさや達成感を感じられる活動をさらに充実させていきます。
2	様々な経験につながる活動	活動では静と動のバランスを意識し、様々な経験や体験につながる活動を行っています。外出や行事などを通して、礼節や集団での過ごし方を学べる機会を大切にしています。	支援内容がマンネリ化しないよう新しい取り組みも取り入れながら、子どもたちが様々な経験を積み重ねられる環境づくりを行っています。
3	安心して笑顔で過ごせる場	通所していただく中で、安心感のある場所となるよう日々小さな変化や様子を見逃さないよう一人ひとりと向き合い支援を行っています。また気持ちや思いをこの先生になら話せるといった環境作りを大切にしています。	お子様の気持ちや訴えをまずは受け止め、話を聞いてあげられる環境をより意識して作っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様への情報共有が不足してしまっている。	日々の様子やできごとの情報共有が不足しており、より詳しく簡潔に伝えられるよう送迎時での引継ぎや連絡帳、LINEを活用しきれていなかった。	日々の様子をより伝えられるよう連絡を充実させていきます。
2	・限られたスペースをどれだけ有効活用していくか。	一定の改善を日頃から取り組んでいるが、固定概念を払拭できず新たな取り組みが難しかった。	整理整頓や不要な物を減らす取り組みを継続して行なっていきます。その中で物の配置や限りあるスペースの中でより充実した支援内容を模索し、新たな取り組みを行なっていきます。
3	・保護者様同士の交流やごきょうだいの交流の発信不足。	年に1回親子行事や運動会、紅白戦などの機会を設けているが、ご参加いただく為の発信力が足りなかった。	今後は、発信力を高め多くのご家族に参加していただけるよう取り組んでいきます。